

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	毎月決算型	年2回決算型
商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2015年3月20日から2020年2月14日までです。	
運用方針	「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）」への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式等（「インカム・エクイティ※」）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。（※「インカム・エクイティ」とは、好配当株式・リート・優先株式／優先リート・MLP・BDCの5つの資産をさします。）なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。	
主要運用対象	アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）	TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス） CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）
	TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式等
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月14日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	毎決算時（年2回、原則毎年2月および8月の各14日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

愛称：アルティメット・アメリカ
アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド
（毎月決算型）／（年2回決算型）

運用報告書（全体版）

毎月決算型 第1作成期

第1期（決算日 2015年4月14日）
第2期（決算日 2015年5月14日）
第3期（決算日 2015年6月15日）
第4期（決算日 2015年7月14日）
第5期（決算日 2015年8月14日）

年2回決算型 第1期（決算日 2015年8月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに作成期中／期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス：<http://www.amundi.co.jp>

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

■設定以来の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 分	み 金	期 騰 落	中 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
第1 作 成 期	(設 定 日) 2015年 3月20日	10,000	—	—	—	—	—	—	8,800
	1 期 (2015年 4月14日)	10,021	0	0.2	0.5	97.6	11,170		
	2 期 (2015年 5月14日)	9,759	0	△2.6	0.5	97.9	11,901		
	3 期 (2015年 6月15日)	9,957	25	2.3	0.4	97.8	12,603		
	4 期 (2015年 7月14日)	9,879	25	△0.5	0.4	98.1	12,475		
	5 期 (2015年 8月14日)	9,600	25	△2.6	0.5	98.0	11,992		

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
第1期	(設定日) 2015年 3月20日	10,000	—	—	—
	3月末	9,928	△0.7	0.4	92.7
	(期 末) 2015年 4月14日	10,021	0.2	0.5	97.6
第2期	(期 首) 2015年 4月14日	10,021	—	0.5	97.6
	4月末	9,974	△0.5	0.5	97.8
	(期 末) 2015年 5月14日	9,759	△2.6	0.5	97.9
第3期	(期 首) 2015年 5月14日	9,759	—	0.5	97.9
	5月末	10,193	4.4	0.4	97.7
	(期 末) 2015年 6月15日	9,982	2.3	0.4	97.8
第4期	(期 首) 2015年 6月15日	9,957	—	0.4	97.8
	6月末	9,756	△2.0	0.4	98.0
	(期 末) 2015年 7月14日	9,904	△0.5	0.4	98.1
第5期	(期 首) 2015年 7月14日	9,879	—	0.4	98.1
	7月末	9,732	△1.5	0.4	98.1
	(期 末) 2015年 8月14日	9,625	△2.6	0.5	98.0

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比(第1期は設定日比)です。

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（年2回決算型）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 配 金		期 騰 落 中 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	純資産総額
		税 分	配 金				
(設 定 日)	円		円	%	%	%	百万円
2015年3月20日	10,000		—	—	—	—	3,701
1期(2015年8月14日)	9,671		0	△3.3	0.5	97.9	4,879

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
(設 定 日)	円	%	%	%
2015年3月20日	10,000	—	—	—
3月末	9,931	△0.7	0.4	91.9
4月末	9,975	△0.3	0.5	97.9
5月末	10,194	1.9	0.5	98.2
6月末	9,778	△2.2	0.5	98.3
7月末	9,778	△2.2	0.5	98.3
(期 末)				
2015年8月14日	9,671	△3.3	0.5	97.9

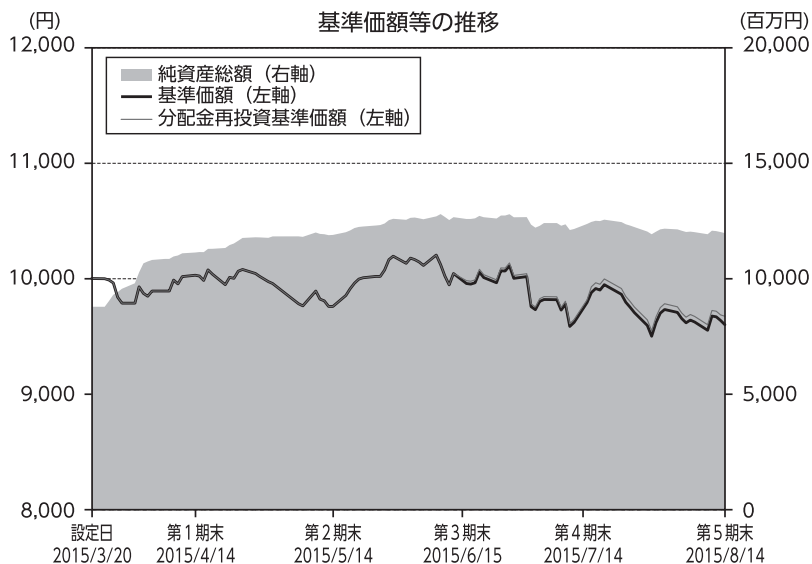
(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 騰落率は設定日比です。

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

【基準価額等の推移】

設定日	10,000円
第5期末	9,600円
既払分配金 (税込み)	75円
騰落率	△3.3% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

下落要因

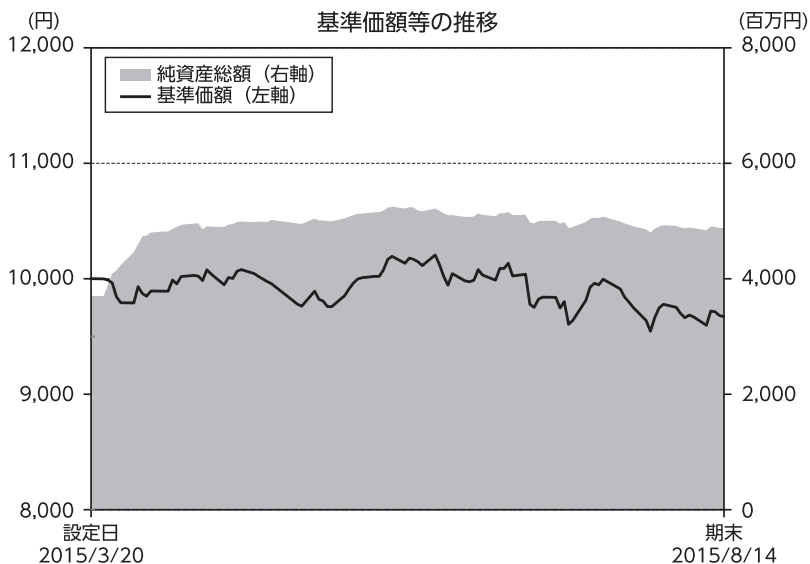
- ① 2015年6月から8月にかけて原油価格が急落する中、組入れているMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）が大幅に下落したこと
- ② 6月から8月にかけて、米国ハイイールド債のスプレッド拡大を受けて、組入れているBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）が下落したこと

上昇要因

- ① 4月に、原油価格が上昇したのに伴い、組入れているMLPが上昇したこと
- ② 5月中旬から6月初旬にかけて、米国の利上げ観測などを背景に、米ドル高・円安となったこと

【基準価額等の推移】

設定日	10,000円
第1期末	9,671円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△3.3%



【基準価額の主な変動要因】

下落要因

- ① 2015年6月から8月にかけて原油価格が急落する中、組入れているMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）が大幅に下落したこと
- ② 6月から8月にかけて、米国ハイイールド債のスプレッド拡大を受けて、組入れているBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）が下落したこと

上昇要因

- ① 4月に、原油価格が上昇したのに伴い、組入れているMLPが上昇したこと
- ② 5月中旬から6月初旬にかけて、米国の利上げ観測などを背景に、米ドル高・円安となったこと

【投資環境】

<アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>

<インカム・エクイティ*市場>

当（作成）期は、世界経済成長の低迷による原油価格の急落やギリシャ債務問題などの様々な要因が投資家心理を圧迫したこともあり、高配当株式市場を含む米国株式市場はやや軟調となりました。米国のマクロ経済指標は強弱交錯した内容となり、非農業部門雇用者数が引き続き1ヵ月当たり約20万人のペースで増加し、住宅関連指標はおおむね堅調だった一方、消費者信頼感指数は小幅に低下しました。これらを考え合わせると、経済指標はFRB（米連邦準備理事会）による2015年9月または12月の利上げを示唆していると思われます。米国10年国債利回りがやや上昇（債券価格は下落）したものの、優先株式／優先リート市場は堅調な値動きとなりました。一方、金利上昇やFRBの利上げ時期をめぐる懸念が打撃となり、リート市場は大きく下落し、原油価格の急落を反映してMLP市場も大幅に下落しました。BDC市場は、信用スプレッドの拡大を受けて軟調となりました。

*当ファンドにおいて、「インカム・エクイティ」とは米国の好配当株式・リート・優先株式／優先リート・MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）・BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）をさします。

<為替市場>

当（作成）期の米ドル／円為替市場は、1米ドル＝120円台で始まりしました。3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で、景気判断に関する表現が下方修正されたほか、経済成長見通しやインフレ見通しも引き下げられました。そのため、市場において年明けから優勢だった早期利上げ期待が後退したことから、市場は方向感を失った動きを示し5月中旬まで横ばいで推移しました。その後、米国の住宅関連指標が好調さを示し、秋の利上げ期待を織り込む動きが強まるとともに、ギリシャの債務返済交渉の難航でユーロが売られ米ドルが買われたことから、6月5日には2002年6月以来の125円86銭を記録しました。その後はギリシャ債務問題の迷走や中国株の下落による投資家心理の悪化等を背景に一時121円台まで円が買い戻されましたが、市場における米国の年内利上げ観測の復活と共に米ドル買い優勢の流れが続き1米ドル＝124円台で当（作成）期末を迎えました。

<日本の短期国債市場>

当（作成）期の日本の短期国債市場では、強い需要を背景に非常に低い利回りで推移しました。日銀による量的・質的金融緩和のもとで、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.01%近辺というマイナスの利回り水準で始まりました。その後も、日銀が金融緩和策としてTDBを大量に買い続けていることから逼迫（ひっばく）した需給に変化はなく、利回りは0.00%近辺で推移しました。7月中旬にTDBの需給が逼迫し、利回りが一時-0.08%まで低下しましたが、当（作成）期末には0.00%近辺に戻りました。

【ポートフォリオ】

<アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>

当ファンドは、円建の外国籍の投資信託である「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）」と、円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当ファンドは「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）」に90%以上投資することを基本としていることから、この運用の基本方針に従い、設定当初より当該投資信託を高位に組み入れました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）>

当（作成）期中、当ファンドはWal-Mart Stores(WMT)、Exterran Holdings(EXH)、Goldman Sachs BDC(GSBD)への投資を行いました。世界的に事業を展開する大手小売会社のWal-Mart Storesは、経営が順調であり、市場のボラティリティ（価格変動性）により株価が下落した際を捉えて投資しました。Exterran Holdingsはパイプライン事業者や石油・天然ガス開発（E&P）事業者にガス圧縮機をリースする企業で、天然ガス採掘量の増加から恩恵を受けます。Goldman Sachs BDCは業績が好調なBDCであり、株主にとって有利な構造を有しています。同BDCは、Goldman Sachs Asset Managementの有する富裕層の個人顧客ネットワークへのアクセスや紹介を通じてオリジネーション案件を集めることができます。当ファンドはポートフォリオの他の部分に資金を振り向けるために、American Realty Capital Properties (ARCP)、Dominion Resources (DCUB)、Exelon Corp (EXCU)、Genesee & Wyoming (GWRU)、NextEra Energy (NEE)、Pebblebrook Hotel Trust (PEB)、Stanley Black & Decker (SWH) およびUnited Technologies (UTX) の優先株式を売却しました。（TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー）

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

当（作成）期、主として6ヵ月未満に償還を迎える短期国債への投資と債券現先取引を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

<アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）>

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（各期の分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

<アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（年2回決算型）>

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

<アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>

当ファンドが投資する「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）」の組入比率を引き続き高位に保ちます。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド

<TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）>

リートやMLPと同様に、相対的に配当利回りの高い株式は、FRBによる最初の利上げ前後の期間にボラティリティが高い状態が続くとみえています。そのため、当ファンドが資金配分を変更したり、新たな資金を投じたりする機会が生じると予想しています。目下のところ、当ファンドはリートとBDCに投資妙味を見出しており、MLPとエネルギー・セクターへの投資機会も積極的に探っています。今後、時機を見てこれらのセクターの組入比率を引き上げる予定です。欧州情勢の安定化や米国の主要経済指標による後押し、利上げを望むFRBの意向を踏まえ、当ファンドはFRBが今年9月または12月に利上げを行うとの確信を深めている一方、利上げの回数は限定され、引き締めサイクルは2016年前半までしか続かないとの見方を維持しています。また、高利回り資産はより大規模な引き締めサイクルを織り込んでいることから売られ過ぎの状況です。当ファンドの戦略は、足元の経済環境と予想される動向に極めて適していると考えています。

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

安全性重視の観点から、短期国債への投資および債券現先取引により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 1 期～第 5 期 (2015年 3 月20日 ～2015年 8 月14日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	42円 (6) (35) (1)	0.428% (0.067) (0.348) (0.013)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監 査 費 用)	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	42	0.432	

期中の平均基準価額は9,916円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2015年3月20日から2015年8月14日まで）

投資信託受益証券、投資証券

決 算 期		第 1 期 ～ 第 5 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	CAマネープールファンド(適格機関投資家専用) (ルクセンブルク)	千口 53,587	千円 54,000	千口 -	千円 -
外国	TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド (米ドル、XJシェアクラス)	1,263	12,582,900	27	259,935

- (注1) 金額は受渡し代金です。
(注2) 単位未満は切捨てです。

■ 利害関係人との取引状況等（2015年3月20日から2015年8月14日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

- (注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

■組入資産の明細（2015年8月14日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘 柄		第 1 作 成 期 末 (第 5 期 末)	
		口 数	評 価 額
C A マネープールファンド(適格機関投資家専用)		千口 53,587	千円 54,000
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	53,587 1	54,000 <0.5%>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（邦貨建）投資証券

銘 柄		第 1 作 成 期 末 (第 5 期 末)	
		口 数	評 価 額
(ルクセンブルク) TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド (米ドル、XJシェアクラス)		千口 1,236	千円 11,758,164
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,236 1	11,758,164 <98.0%>

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

■投資信託財産の構成

2015年8月14日現在

項 目	第 1 作 成 期 末 (第 5 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	54,000	0.4
投 資 証 券	11,758,164	97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	237,388	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	12,049,552	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年4月14日) (2015年5月14日) (2015年6月15日) (2015年7月14日) (2015年8月14日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末	第 4 期 末	第 5 期 末
(A) 資 産	11,200,712,472円	11,945,920,280円	12,694,695,520円	12,543,510,179円	12,049,552,032円
コール・ローン等	246,274,705	245,941,813	310,455,435	228,109,917	237,387,967
投資信託受益証券(評価額)	54,000,000	54,000,000	54,000,000	54,000,000	54,000,000
投資証券(評価額)	10,900,437,700	11,645,978,400	12,330,240,000	12,240,102,000	11,758,164,000
未 収 入 金	—	—	—	21,298,200	—
未 収 利 息	67	67	85	62	65
(B) 負 債	30,414,798	44,195,793	90,986,542	68,107,826	56,772,148
未 払 金	22,977,000	22,383,600	6,959,400	—	—
未 払 収 益 分 配 金	—	—	31,644,244	31,569,101	31,229,820
未 払 解 約 金	—	11,506,649	40,602,092	25,670,356	14,090,539
未 払 信 託 報 酬	7,366,249	10,135,547	11,499,113	10,484,834	10,961,780
そ の 他 未 払 費 用	71,549	169,997	281,693	383,535	490,009
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	11,170,297,674	11,901,724,487	12,603,708,978	12,475,402,353	11,992,779,884
元 本	11,146,696,771	12,196,131,475	12,657,697,665	12,627,640,589	12,491,928,160
次 期 繰 越 損 益 金	23,600,903	△294,406,988	△53,988,687	△152,238,236	△499,148,276
(D) 受 益 権 総 口 数	11,146,696,771口	12,196,131,475口	12,657,697,665口	12,627,640,589口	12,491,928,160口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,021円	9,759円	9,957円	9,879円	9,600円

(注記事項)

作成期首元本額	8,800,599,460円
作成期中追加設定元本額	4,118,195,384円
作成期中一部解約元本額	426,866,684円

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

■損益の状況

第1期 自2015年3月20日 至2015年4月14日
 第2期 自2015年4月15日 至2015年5月14日
 第3期 自2015年5月15日 至2015年6月15日
 第4期 自2015年6月16日 至2015年7月14日
 第5期 自2015年7月15日 至2015年8月14日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(A) 配 当 等 收 益	37,453,935円	44,034,620円	46,161,819円	47,058,888円	46,948,904円
受 取 配 当 金	37,442,385	44,031,596	46,159,431	47,056,900	46,947,068
受 取 利 息	11,550	3,024	2,388	1,988	1,836
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	16,043,984	△350,966,367	230,148,905	△101,703,427	△352,794,327
売 買 益	16,043,976	266,588	231,887,833	3,030,625	3,957,944
売 買 損	8	△351,232,955	△ 1,738,928	△104,734,052	△356,752,271
(C) 信 託 報 酬 等	△ 7,437,798	△ 10,233,995	△ 11,610,809	△ 10,586,676	△ 11,068,254
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	46,060,121	△317,165,742	264,699,915	△ 65,231,215	△316,913,677
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	—	46,013,506	△269,609,845	△ 36,064,505	△131,059,365
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△22,459,218	△ 23,254,752	△ 17,434,513	△ 19,373,415	△ 19,945,414
(配当等相当額)	(988,891)	(6,430,980)	(11,097,941)	(12,428,726)	(12,601,645)
(売買損益相当額)	(△23,448,109)	(△ 29,685,732)	(△ 28,532,454)	(△ 31,802,141)	(△ 32,547,059)
(G) 計 (D+E+F)	23,600,903	△294,406,988	△ 22,344,443	△120,669,135	△467,918,456
(H) 收 益 分 配 金	0	0	△ 31,644,244	△ 31,569,101	△ 31,229,820
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	23,600,903	△294,406,988	△ 53,988,687	△152,238,236	△499,148,276
追 加 信 託 差 損 益 金	△22,459,218	△ 23,254,752	△ 17,434,513	△ 19,373,415	△ 19,945,414
(配当等相当額)	(988,891)	(6,430,980)	(11,097,941)	(12,428,726)	(12,601,645)
(売買損益相当額)	(△23,448,109)	(△ 29,685,732)	(△ 28,532,454)	(△ 31,802,141)	(△ 32,547,059)
分 配 準 備 積 立 金	46,060,121	79,814,131	91,937,537	95,609,080	98,960,712
繰 越 損 益 金	—	△350,966,367	△128,491,711	△228,473,901	△578,163,574

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益(32,246,733円)、費用控除後の有価証券等損益額(13,813,388円)、および信託約款に規定する収益調整金(988,891円)より分配対象収益は47,049,012円(10,000口当たり42円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第2期計算期間末における費用控除後の配当等収益(33,800,625円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(6,430,980円)および分配準備積立金(46,013,506円)より分配対象収益は86,245,111円(10,000口当たり70円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第3期計算期間末における費用控除後の配当等収益(44,221,653円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(11,097,941円)および分配準備積立金(79,360,128円)より分配対象収益は134,679,722円(10,000口当たり106円)であり、うち31,644,244円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

第4期計算期間末における費用控除後の配当等収益(36,472,212円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,428,726円)および分配準備積立金(90,705,969円)より分配対象収益は139,606,907円(10,000口当たり110円)であり、うち31,569,101円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,880,650円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,601,645円)および分配準備積立金(94,309,882円)より分配対象収益は142,792,177円(10,000口当たり114円)であり、うち31,229,820円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（毎月決算型）

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
1 万口当たりの分配金（税込み）	0円	0円	25円	25円	25円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 普通分配金
 <平成26年1月1日以降>
 普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）の税率が適用されます。
 *法人の受益者の場合、税率が異なります。
 *少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
 NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。
 *税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
	(2015年3月20日 ～2015年4月14日)	(2015年4月15日 ～2015年5月14日)	(2015年5月15日 ～2015年6月15日)	(2015年6月16日 ～2015年7月14日)	(2015年7月15日 ～2015年8月14日)
当期分配金	—	—	25	25	25
（対基準価額比率）	（—%）	（—%）	（0.250%）	（0.252%）	（0.260%）
当期の収益	—	—	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	42	70	81	85	89

（注1）「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

（注2）「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（年2回決算型）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 1 期 (2015年 3月20日 ～2015年 8月14日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	43円 (7) (35) (1)	0.428% (0.059) (0.356) (0.013)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0.432	

期中の平均基準価額は9,931円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況（2015年3月20日から2015年8月14日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内		千口	千円	千口	千円
	CAマネーパールファンド(適格機関投資家専用) (ルクセンブルク)	23,816	24,000	—	—
外 国	TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド (米ドル、XJシェアクラス)	520	5,181,209	18	178,432

- (注1) 金額は受渡し代金です。
(注2) 単位未満は切捨てです。

■ 利害関係人との取引状況等（2015年3月20日から2015年8月14日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

- (注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2015年8月14日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘 柄		当 期 末	
		口 数	評 価 額
CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)		千口 23,816	千円 24,000
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	23,816 1	24,000 <0.5%>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（邦貨建）投資証券

銘 柄		当 期 末	
		口 数	評 価 額
(ルクセンブルク) TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド (米ドル、XJシェアクラス)		千口 502	千円 4,776,873
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	502 1	4,776,873 <97.9%>

アムンディ・USインカム・エクイティ・ファンド（年2回決算型）

■投資信託財産の構成

2015年8月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	24,000	0.5
投 資 証 券	4,776,873	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99,752	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,900,625	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2015年8月14日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	4,900,625,653円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	99,752,626
投資信託受益証券(評価額)	24,000,000
投 資 証 券(評価額)	4,776,873,000
未 収 利 息	27
(B)負 債	21,455,324
未 払 解 約 金	236,732
未 払 信 託 報 酬	21,014,500
そ の 他 未 払 費 用	204,092
(C)純 資 産 総 額(A - B)	4,879,170,329
元 本	5,045,262,451
次 期 繰 越 損 益 金	△166,092,122
(D)受 益 権 総 口 数	5,045,262,451口
1万口当たり基準価額(C / D)	9,671円

(注記事項)

期首元本額	3,701,469,364円
期中追加設定元本額	1,617,172,978円
期中一部解約元本額	273,379,891円

■損益の状況

当期 自2015年3月20日 至2015年8月14日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	91,391,500円
受 取 配 当 金	91,383,311
受 取 利 息	8,189
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△224,959,119
売 買 益	1,989,902
売 買 損	△226,949,021
(C)信 託 報 酬 等	△ 21,218,592
(D)当 期 損 益 金(A + B + C)	△154,786,211
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,305,911
(配 当 等 相 当 額)	(2,186,345)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 13,492,256)
(F)計 (D + E)	△166,092,122
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F + G)	△166,092,122
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,305,911
(配 当 等 相 当 額)	(2,186,345)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 13,492,256)
分 配 準 備 積 立 金	70,172,908
繰 越 損 益 金	△224,959,119

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■分配金のお知らせ

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

課税上の取扱いについて

<平成26年1月1日以降>

普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）の税率が適用されます。

*法人の受益者の場合、税率が異なります。

*少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。

*税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第1期
	(2015年3月20日～2015年8月14日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	143

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド

< 1. 補足情報 >

「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド（米ドル、XJシェアクラス）」は、「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド」にて既存の他のクラスと合わせた合同運用が行われています。

「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド」の決算日は毎年9月末ですが、当ファンドの設定日が2015年3月20日のため、当作成期/当期における決算日の情報はございません。

つきましては、以下2015年8月13日現在における「TCWファンズ-TCWマルチインカムUSエクイティ・ファンド」の補足情報を掲載しております。

■有価証券明細（評価額上位30銘柄）

（2015年8月13日現在）

銘柄		株数	評価額					
			通貨	現地通貨建金額	米ドル建評価額			
アメリカ	株式	M&T BANK CORPORATION	30,500	USD	3,950,360.00	3,950,360.00		
		WELLS FARGO & CO	62,700	USD	3,567,003.00	3,567,003.00		
		INTL BUSINESS MACHINES CORP	21,800	USD	3,380,526.00	3,380,526.00		
		QUALCOMM INC	54,000	USD	3,349,620.00	3,349,620.00		
		VERIZON COMMUNICATIONS INC	66,800	USD	3,183,688.00	3,183,688.00		
		OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	41,800	USD	3,048,474.00	3,048,474.00		
		MDC HOLD. (DEL.)	101,300	USD	3,026,844.00	3,026,844.00		
		CHEVRON CORP	31,300	USD	2,687,105.00	2,687,105.00		
		COCA-COLA CO	63,400	USD	2,605,740.00	2,605,740.00		
		PATTERSON UTI ENERGY	134,200	USD	2,356,552.00	2,356,552.00		
		LENNAR A	39,900	USD	2,091,957.00	2,091,957.00		
		WELLS FARGO & COMPANY PREFERRED PERPETUAL	79,076	USD	2,050,440.68	2,050,440.68		
		BANK OF AMERICA CORP PFD SHS SERIES Y	78,800	USD	2,043,284.00	2,043,284.00		
		MORGAN STANLEY PFD SHS SER - F	75,500	USD	2,043,030.00	2,043,030.00		
		JP MORGAN CHASE & CO PFD SHS	79,200	USD	2,025,144.00	2,025,144.00		
		WILLIAMS COMPANIES INC	39,200	USD	2,011,744.00	2,011,744.00		
		PUBLIC STORAGE DEPOSIT PFD SHS A	78,500	USD	1,997,825.00	1,997,825.00		
		ARES CAPITAL	123,500	USD	1,984,645.00	1,984,645.00		
		パナマ アメリカ	株式	BB&T CORP 5.625% 31/12/49 PREFERRED	79,000	USD	1,956,040.00	1,956,040.00
				WYNN RESORTS	19,700	USD	1,864,014.00	1,864,014.00
COPA HOLDINGS CLASS A	29,100			USD	1,851,051.00	1,851,051.00		
VEREIT INC	75,400			USD	1,839,006.00	1,839,006.00		
AMERICAN CAPITAL LTD	127,800			USD	1,804,536.00	1,804,536.00		
DIGITAL REALTY TRUST INC	63,900			USD	1,756,611.00	1,756,611.00		
THERAVANCE	125,400			USD	1,735,536.00	1,735,536.00		
ABBVIE INC	25,000			USD	1,713,500.00	1,713,500.00		
NATIONAL RETAIL PROPERTIES DEPOSIT SHS D	64,700			USD	1,693,846.00	1,693,846.00		
TPG SPECIALTY LENDING	92,900			USD	1,655,478.00	1,655,478.00		
	株式	KB HOME	105,400	USD	1,636,862.00	1,636,862.00		
		APOLLO INVESTMENT	230,100	USD	1,566,981.00	1,566,981.00		

（注）通貨欄の表記は以下の通りです。

USD(米ドル)

CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

< 2. 補足情報 >

「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の決算日は2月15日（休業日の場合は翌営業日）ですが、当ファンドの設定日が2015年3月20日のため、当作成期／当期における決算日の情報はございません。つきましては、2015年8月14日現在における「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の補足情報を掲載しております。

■主要な売買銘柄（2015年3月20日から2015年8月14日まで）

公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第521回国庫短期証券	999,965	—	—
第522回国庫短期証券	999,965	—	—
第525回国庫短期証券	999,980	—	—

（注1）金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

（注2）単位未満は切捨てです。

（注3）国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■組入資産の明細

公社債

(A) 公社債種類別

国内（邦貨建）公社債

区 分	2015年8月14日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	4,300,000	4,300,000	78.4	—	—	—	78.4
合 計	4,300,000	4,300,000	78.4	—	—	—	78.4

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）単位未満は切捨てです。

（注3）—印は組入れなしです。

（注4）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 公社債銘柄別

国内（邦貨建）公社債

2015年8月14日現在

種 類	銘 柄	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	第541回国庫短期証券※	—	4,300,000	4,300,000	2015/9/28
合 計		—	4,300,000	4,300,000	

（注1）額面・評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）※印は現先で保有している債券です。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント